

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら 善行教室（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年12月15日		～ 2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	2025年12月15日		～ 2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個人にあった目標を立てている	職員間で支援の仕方の工夫や個人の対応方法を共有している	共有した内容を踏まえ、日々の支援の向上を図る
2	スモールステップやチャレンジすることができる活動を取り入れ、落ち着いて過ごせる環境作りの意識が出来ている	個人に合わせた教材や活動を積極的に取り入れるようにしている	個人の特性を更に理解していけるように努めていく
3	入園・入学に向けたプログラムを取り入れ活動している	基本的な生活習慣や様々なルールやマナーを、経験を通じて学べるようにしていく	保護者の方との情報交換を行っていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	OT・PT・STなどの専門職がない	保育士や児童指導員は在籍しているが、専門職の職員が在籍していない	研修や情報共有をしていき、職員1人ひとりの知識や技術の向上を図る
2	災害が発生した時の対応についての情報発信が弱い	定期的に避難訓練や職員間での研修は行っているが、保護者の方への説明が不十分である	避難訓練や研修は継続的に行うとともに、契約時に災害や緊急時の対応について詳しく説明をしていく
3	個別支援計画の保護者の方への説明が不十分な点がある	簡単に説明している部分が多い 詳しく説明できる場を設けていく	面談の場を設けていくようにする 個別支援計画について、保護者の方だけでなく、職員も内容を理解していくように努めていく

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら 善行教室（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2025年12月15日		～ 2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数) 27名
○従業者評価実施期間	2025年12月15日		～ 2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様や保護者の方が相談しやすい環境を作るように心がけている	お子様や保護者の方からの相談を職員間で共有し、相談しやすい環境づくりを意識している	面談の機会や送迎時に保護者の方と話す機会を増やすようにしている
2	親子参加イベントを年に1～2回開催している	・イベント前には、職員間で詳細な話し合いを繰り返し行い、当日の流れの確認をしている ・多くの方に参加していただけるような声かけをしている	イベントだけではなく、保護者会や茶話会などを開催し、保護者の方同士の交流の場を提供していけるようにしていく
3	お子さまが楽しく通所できている	・お子さまにとって、楽しく安心できるような場所づくりを心がけている ・月のイベントを職員間で話し合い、お子さまが楽しんでもらえるようなイベントを立案している	・継続して安心安全に楽しく過ごせる場所づくりを心がけていく ・職員だけではなく、お子さまと一緒にイベントを考えていけるようにする

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子供たちと交流する機会がない	・事業所周辺の老人ホームや児童館での交流はあるが、地域の学校に通っているお子さまとの交流の場は設けられていない	ご要望をいただいた場合には検討していく
2	家族で参加できる研修会などが行っていない	お子さまへの療育を中心としているため、保護者の方向けの研修などが実施できていない	保護者の方からご相談をいただいた場合には、職員間で共有し、相談に対してアドバイスや情報提供をしていく
3	災害が発生した時の対応についての情報発信が弱い	定期的に避難訓練や職員での研修を行っているが、保護者の方への説明が不十分であった	避難訓練や研修は継続的に行うとともに、契約時にも、災害時や緊急の時の対応について詳しく説明を行うようにしていく